

授業科目	言語発達障害Ⅶ (援助法-臨床)				
担当者	齋藤 典昭				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

子どもさんに協力していただき、一緒に遊び、その後で「子どもさんの課題」と関わる「学生の課題」について検討します。

■ 到達目標

1. 子どもの多様性に気づくことができる
2. 子どもに合わせて上手に遊ぶことができる
3. 遊びを通じて子どもの能力を評価することができる

■ 授業計画

第1回	設定第1回	ガイダンスとセッションプログラムの確認	
第2回	設定第1回	子どもさんとのセッション	
第3回	設定第1回	セッションのフィードバックとディスカッション	
第4回	設定第2回	前回の振り返りとセッションプログラムの確認	
第5回	設定第2回	子どもさんとのセッション	
第6回	設定第2回	セッションのフィードバックとディスカッション	以上担当 A 班
第7回	設定第3回	前回の振り返りとセッションプログラムの確認	
第8回	設定第3回	子どもさんとのセッション	
第9回	設定第3回	セッションのフィードバックとディスカッション	
第10回	設定第4回	前回の振り返りとセッションプログラムの確認	
第11回	設定第4回	子どもさんとのセッション	
第12回	設定第4回	セッションのフィードバックとディスカッション	以上担当 B 班
第13回	設定第5回	前回の振り返りとセッションプログラムの確認	
第14回	設定第5回	子どもさんとのセッション	
第15回	設定第5回	セッションのフィードバックとディスカッション	
第16回	設定第6回	前回の振り返りとセッションプログラムの確認	
第17回	設定第6回	子どもさんとのセッション	
第18回	設定第6回	セッションのフィードバックとディスカッション	以上担当 C 班

■ 評価方法

準備を含めたセッションへの取り組み20%、提出レポート80% で評価する。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業後、次回授業までに課題についてグループディスカッションを行い、レポートを作成・提出すること。

■ 教科書

書 名：言語聴覚障害診断 小児編
 著者名：大塚裕一，井崎基博
 出版社：医学と看護社

■ 参考図書

--

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

--